

沼田市在宅介護支援センターゆうゆう・うちだ

団体の主な活動

- 1.地域での高齢者の実態を把握することにより介護ニーズの予測とその対応。
- 2.中学校区ごとにある協議体で第2層の生活支援コーディネーターとして情報収集や情報発信をしながらネットワークづくりや課題解決に向けた仕組みづくり。

① 地域のくらしの課題、くらしの中で感じている問題点は。

- 災害、防犯、移動(買い物や通院支援)、認知症など生活上の困りごとが出てきた場合の対応。
- 高齢化率の高いエリアは昔ながらの地縁がありつつも人口減少もあり支えきれない。
- 若い世代や移住者が住みつきやすいエリアは関わりが少なく、役の担い手も少ない。

② 今後解決したいこと、さらに取り組みたいこと。

- 日頃からの交流や話し合いを大切にしていきたい。
- 助け合いネットワークをはじめ、様々な取り組みの情報収集や発信は継続して推進していきたい。
- 交流や話し合いに参加する人を増やしていきたい。

沼田市地域包括支援センター

団体の主な活動

・平成18年4月、全国市町村に、誰もが住み慣れた自宅で、その人らしく暮らし続けられるように、医療、介護サービス等を組み合わせ、一緒に考える相談機関として誕生。保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員の3職種が配置。

【主な仕事】

①総合相談 ②権利擁護 ③介護支援専門員の支援 ④介護予防プラン作成等

① 地域のくらしの課題、くらしの中で感じている問題点は。

- ・孤立している高齢（独居）者の増加（家族関係、認知症、触法高齢者など）
- ・8050問題（引きこもり、虐待など）
- ・目的地までの移動手段の確保（病院、商店など） デマンドバス、移動販売を利用できない、しない
- ・支援者の高齢化、不足（家族、介護事業者など）

② 今後解決したいこと、さらに取り組みたいこと。

- ・認知症カフェを再開したが、参加者が少ない状況。開催方法を検討（場所、送迎など）
- ・生活を支える側の担い手不足の解消（「お互いさま」を全ての市民に）
『誰もがいつかは誰かの手助けが必要になる。それは当たり前だのクラッ○○』

沼田市社会福祉協議会

団体の主な活動

【わたしたちのできること たすけあいのまちづくり】

地域で暮らす全ての人々が安心して幸せな生活を送ることができるよう地域福祉の推進活動

- ①地域福祉の推進、②相談事業、③高齢者福祉の推進、④障がい福祉の推進。⑤子育て支援・児童福祉の推進、⑥各種貸付事業、⑦ボランティアセンターの運営、⑧福祉用具・福祉車両の貸出、⑨広報活動

① 地域のくらしの課題、くらしの中で感じている問題点は。

年々上昇する高齢化率、減少する若年世代人口。高齢者、障がいのある方をはじめ、支援を必要とする要支援者は年々増加する中で

- ①地域福祉活動の担い手の確保、②社会福祉協議会の機能強化、③地域とのつながりの希薄化、④福祉ニーズの多様化・複雑化、⑤相談支援体制の一元化、⑥防災に対する意識、⑦自立した生活への地域づくり

② 今後解決したいこと、さらに取り組みたいこと。

沼田市では、住み慣れた地域で、高齢者が自らの能力に応じてできる限り自立して生活できるよう、医療、介護、住まい、介護予防及び日常生活の支援が包括的に提供される「地域包括ケアシステム」を推進している。今後は更に障がい者、子ども、子育て家庭、生活困窮者などに対する支援も行い、「地域共生社会」を目指す。